

文部科学大臣 川端 達夫 殿
文部科学副大臣 中川 正春 殿
文部科学政務官 後藤 齋 殿

平成21年12月25日

行政刷新会議・事業仕分け判定に関する見解および要望書

社会学関連学会への日頃のご理解とご支援に深く感謝申し上げます。私たち学会関係者は、事業仕分けは国家予算の効率的な使用という目的に適った意義深いものであると理解しており、また、そこでの過程を公開することも望ましいことと考えております。しかし、事業仕分けは本来、短期の無駄を洗い出すことに適した手法です。そのような手法で学術関連の事業を判定して出された結果は、我が国の今後の学問的発展と人材育成に大変な悪影響を与えるものと強い危機感を抱いております。我が国を代表する29の社会学系の学会より、以下の通り、要望いたします。

学術研究は、中・長期的な展望のもとに進めるべき知的文化的事業であり、短期的な効率・成果という視点のみから行われる仕分け作業には基本的に馴染まないものです。そして、少子・高齢化問題や格差問題、自殺の増加といった社会的課題が山積する昨今、社会学をはじめとする社会科学分野の果たす役割がますます大きくなっていることも間違いありません。こうした観点から、とりわけ以下の3点において、仕分け事業による判定結果の再考をお願いする次第です。

- 1) わが国政府の高等教育予算は、他の先進諸国と比べて著しく少ないことはご承知の通りです。それゆえ、運営費交付金等による大学・研究機関の基盤強化は、若手人材育成と高等教育の活性化に非常に重要なものであり、わが国の学問水準を維持する生命線です。これらの削減は、優秀な頭脳を条件の良い海外へさらに流出させることにも繋がります。
- 2) 学術研究は多様な人材が多様な価値観と発想により行ってこそ成果が挙がる性格のもので、競争的資金制度の一元化や削減、若手研究者に対する競争的資金を整理統合するようなことは、学術成果の芽を摘み取ってしまう可能性を高める極めてリスクの大きい政策です。したがって、「競争的資金（先端研究）：事業番号3-20」と「大学の先端的取組支援：事業番号3-52」に対する予算縮減停止がもたらす悪影響は計り知れません。
- 3) ポスドクは、我が国の学術研究の現場を支える重要な基盤的人材であり、ポスドクの雇用は、博士課程修了者への生活保護やセーフティネットではありません。そして学術振興会の特別研究員制度は、特に優秀な大学院生やポスドク研究者に与えら

れているものであり、将来の日本の科学研究に必要な人材にのみ認められています。いわゆる文系の博士課程修了者の就職は、理系の各分野に比べてもたいへん厳しい状況にあります。そのような中で社会科学を発展させるには、研究者（特に若手）を支援して、その創造性を引き出すことが重要です。「競争的資金（若手研究者育成）：事業番号 3-21」に対する予算縮減停止は、わが国の将来の学術水準を著しく低めることとなります。

文部科学大臣殿、副大臣殿、政務官殿におかれましては、わが国の学術水準の向上とそのため若手人材育成強化などの長期的な展望に立った予算の策定を実施されますよう、強く要望いたします。

環境社会学会会長 関西学院大学教授 古川 彰
関西社会学会会長 京都大学教授 伊藤公雄
関東社会学会会長 慶應義塾大学教授 有末 賢
社会事業史学会会長 日本福祉大学教授 永岡正己
数理社会学会会長 九州大学教授 三隅一人
地域社会学会会長 金城学院大学教授 西山八重子
東北社会学会会長 東北学院大学教授 久慈利武
東北社会学研究会会長 東北大学教授 小林一穂
日仏社会学会会長 関西学院大学教授 荻野昌弘
日米高齢者保健福祉学会会長代行 東京福祉大学教授 平山 尚
日本解放社会学会会長 長崎ウエスレヤン大学教授 亘 明志
日本家族社会学会会長 お茶の水女子大学名誉教授 牧野カツコ
日本看護福祉学会理事長 京都橘大学教授 岡崎美智子
日本社会学会会長 成城大学教授 矢澤修次郎
日本社会学史学会会長 京都橘大学教授 大野道邦
日本社会学理論学会会長 名古屋大学教授 西原和久
日本社会情報学会(JASI)会長 東京大学教授 須藤 修
日本社会情報学会(JSIS)会長 群馬大学教授 黒須俊夫
日本社会福祉学会会長 東洋大学教授 古川孝順
日本社会分析学会会長 九州大学名誉教授 鈴木 廣
日本スポーツ社会学会会長 龍谷大学教授 亀山佳明
日本村落研究学会会長 龍谷大学教授 河村能夫
日本都市社会学会会長 一橋大学教授 町村敬志
日本難病看護学会代表理事 群馬パース大学教授 牛込三和子
日本保健医療社会学会会長 東京学芸大学教授 朝倉隆司

日本マス・コミュニケーション学会会長 東京大学教授 浜田純一

日本労働社会学会代表幹事 南山大学教授 松戸武彦

福祉社会学会会長 東京大学教授 武川正吾

北海道社会学会会長 北海道大学教授 小内 透